

＜資料編＞

海老名環境マネジメントシステム環境評価
令和5年度実施事業
評価結果報告書

環境評価対象事業環境評価調書 (令和5年度実施事業)

施策	事業	ページ
1-1 地球温暖化対策を推進します	市の事務事業における温室効果ガス排出量	53
	個人住宅用太陽光発電導入状況（補助制度累計kw数）	
	エネファーム導入状況（補助制度累計台数）	
	低公害車の導入状況（補助制度累計台数）	
1-2 循環型社会を形成します	リサイクル率	59
	事業系ごみ排出量	
	市庁舎におけるごみ排出量	
	生ごみ処理機の普及率（補助制度実績）	
1-3 緑・水・生きものと共生します	自然緑地保全区域面積・樹木数	65
	緑化に関する情報の発信回数	
	生物多様性に関する情報の発信回数	
2-1 水環境を守ります	水洗化率	70
	公共下水道の普及率	
	水循環に関する情報の発信回数	
2-2 生活環境を守ります	大気環境基準達成状況	75
	コミュニティバス利用者数	
	騒音に関する相談件数	
3-1 都市環境を整備します	道路整備への満足度（市政アンケート：幹線・生活道路の整備に満足・やや満足と回答した人の割合）	80
	美化推進員のポイ捨て、路上喫煙巡回日数	
	えびなクリーン作戦参加者累計数	
3-2 農業地を守ります	農作業受委託面積	85
	市民農園利用者数	
	農業体験イベント参加者数	
3-3 地域資源を守ります	郷土資料館・歴史資料収蔵館来館者数	90
	歴史関連イベント・講座参加者数	
4-1 環境を考え、行動します	環境関連情報発信回数	94
	啓発・出前講座参加者数	
	海老名市きれいなまちづくり事業への登録団体数	
	海老名市地域緑化事業への登録団体数	

【令和6年度評価】外部評価シート（令和5年度分）

基本方針		施策の方針	
1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます		1 地球温暖化対策を推進します	
目標指標		令和5年度実績	
（現状値（年度））	（目標値（年度））		
市域からの温室効果ガス排出量		828千t-CO2（令和3年度実績）	
1,055千t-CO2 （平成28年度）	794千t-CO2 （令和11年度）		
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
市の事務事業における温室効果ガス排出量	3	3	本庁舎等、LED化の導入が図られ、エネルギー使用量の削減や環境配慮活動への呼びかけ、CO2排出量の削減に向けて意識が向上した。
個人住宅用太陽光発電導入状況	3	3	関係機関への周知啓発を図った結果、昨年度より申請数が増え、目標を上回る結果となったため、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断します。
エネファーム導入状況	3	3	目標を達成することはできなかったが、関係機関への周知啓発を図った結果、昨年度より申請数が増えたため、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断します。
低公害車の導入状況	3	3	昨年度より申請数は減ったが、関係機関への周知啓発を図った結果、目標を上回る結果となったため、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断します。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。		
判断理由及び評価内容			
活動状況から3と評価します。 今後の活動として、下記取り組んでいただきたい。 1ーa、調査結果から分かった市だけでなく市民・事業者の積極的取り組みが必要、をどう具体策で実施するか進めてください。 1ーb、補助金にたよらない手段、（県の進める共同購入や0円ソーラー）など周知促進できるか具体策を考え実施してください。 1ーc、予算枠を分けることで令和5年に回復した実績をさらに展開してどうしたらさらに普及できるか考えて実行してください。 1ーd、民間の普通充電無償設置や充電設備新設の市補助（平成24年に設けた制度、現在対象外）を復活する対策等を具体化して実施し、成果につなげていただきたい。			

令和6年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和5年度分)				事業コード	1 — 1 — a
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
市の事務事業における温室効果ガス排出量			11,077t-CO2(H28/2016)	6,900t-CO2 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます			
	施策の方針	1-1 地球温暖化対策を推進します			
	関連する目標指標	市域からの温室効果ガス排出量			
令和5年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込	予算額	
海老名市地球温暖化対策実行計画に基づいて、公共施設への省エネ性能の高い設備の導入や運用改善の推進を図るとともに、施設管理者や利用者の省エネ意識啓発に取組みます。			8,828t-CO2 (2,249t-CO2削減)	— 千円	
			達成率：78.2%		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
照明のLED化、省エネ設備の導入、全庁的な節電周知等の施策は実施されたが、その一方、コロナ明けで公共施設の利用率が戻りつつあるとともに、人口増加に対応するために公共施設の増設・増築等もあり、昨年度同様どの程度排出量削減に市の取組みが寄与しているか見極めが困難。					
令和5年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・地球温暖化の抑制			・省エネ工事による廃棄物の増加		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・温室効果ガス削減に関する相談			・省エネの情報収集及び提供		
令和5年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
令和3年度	・環境マネジメントシステムに基づく職員研修や環境配慮取組状況の確認等を通じて省エネに対する意識向上に努めました。 ・公共施設におけるエネルギー使用量の削減や環境配慮活動の呼びかけを行うと同時に、取組状況の把握に努めました。 ・防犯灯のLED化等、可能な範囲での省エネ設備の導入が図られました。			9,852t-CO2 (1,225t-CO2削減)	
				達成率：70.0%	
令和4年度	・環境マネジメントシステムに基づく職員研修や環境配慮取組状況の確認等を通じて省エネに対する意識向上に努めました。 ・公共施設におけるエネルギー使用量の削減や環境配慮活動の呼びかけを行うと同時に、取組状況の把握に努めました。 ・本庁舎（一部）のLED化等、可能な範囲での省エネ設備の導入が図られました。			9,825t-CO2 (1,252t-CO2削減)	
				達成率：70.2%	
令和5年度	・環境マネジメントシステムに基づく職員研修や環境配慮取組状況の確認等を通じて省エネに対する意識向上に努めました。 ・公共施設におけるエネルギー使用量の削減や環境配慮活動の呼びかけを行うと同時に、取組状況の把握に努めました。 ・本庁舎のLED化が完了し、省エネ設備の導入が図られました。			9,687t-CO2 (1,390t-CO2削減)	
				達成率：71.2%	
令和5年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	なし				
課題等	ゼロカーボンに向けてどのような取り組みが必要なのか調査をし、それらを各種計画に落とし込み取り組んでいく必要がある。				
令和5年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	本庁舎等、LED化の導入が図られ、エネルギー使用量の削減や環境配慮活動への呼びかけ、CO2排出量の削減に向けて意識が向上した。			
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。 本庁舎等、LED化の導入が図られ、エネルギー使用量の削減や環境配慮活動への呼びかけに取組まれ、CO2排出量の削減に向けた意識向上が図られたことは評価いたします。 引き続き、ゼロカーボンに向けての取り組みなどの検討を期待します。			

令和6年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和5年度分)				事業コード	1	—	1	—	b
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係				
個別指標の内容				現状値(年度)		目標値(目標年度)			
個人住宅用太陽光発電導入状況(補助制度累計kw数)				8,649kw(H30/2018)		13,000kw (R11/2029)			
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます							
	施策の方針	1-1 地球温暖化対策を推進します							
	関連する目標指標	市域からの温室効果ガス排出量							
令和5年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
市民のライフスタイルや環境に配慮する意識と省エネ効果を高めるため、海老名市内に太陽光発電施設を設置した方に対し、経費の一部を発電能力に応じて補助。				10389kw			9,200 千円		
				達成率： 79.9%					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
同一予算である電気自動車の申請台数が多かったため、太陽光発電の申請枠を削られることとなった。今後、他の設備等補助金とのバランスを検討することが必要。									
令和5年度事務事業に係る環境影響									
有益影響				有害影響					
・ 市民及び事業者における省エネの推進 ・ 市域のエネルギー使用量削減				・ 再エネ設備導入工事による廃棄物の増加					
想定されるコミュニケーション				コミュニケーションへの対応					
・ 補助内容に関する意見・要望				・ 補助内容の見直し					
令和5年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和3年度	太陽光発電施設への補助実績 件 数：76件 補助額：9,226,000円 総出力：491.23kW							10079kw	
	取組実績 ・ 住宅展示場等の関係機関へポスター、パンフレットを配布 ・ 駅間自由通路にデジタルポスターを掲載 ・ 申請手続きを代行するハウスメーカー等への早期申請の促進								
令和4年度	太陽光発電施設への補助実績 件 数：44件 補助額：5,506,000円 総出力：290.35kW							10369kw	
	取組実績 ・ 住宅展示場等の関係機関へポスター、パンフレットを配布 ・ 開発事業者への事前の要望 ・ 申請手続きを代行するハウスメーカー等への早期申請の促進								
令和5年度	太陽光発電施設への補助実績 件 数：67件 補助額：7,660,000円 総出力：416.88kW							10786kw	
	取組実績 ・ 住宅展示場等の関係機関へポスター、パンフレットを配布 ・ 開発事業者への事前の要望 ・ 申請手続きを代行するハウスメーカー等への早期申請の促進								
令和5年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	なし								
課題等	市域内のCO2削減に向けて重要な施策であるため、さらなる普及策について検討します。								
令和5年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価			判断理由及び内容					
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			関係機関への周知啓発を図った結果、昨年度より申請数が増え、目標を上回る結果となったため、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断します。					
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			担当部課環境評価の内容を支持します。前年と比較し補助実績が増加しており、令和5年度の達成見込みを上回る結果となったことは評価できると思います。今後も周知を継続し、さらなる普及策の検討を重ねられることを期待します。					

令和6年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和5年度分)				事業コード	1 — 1 — c	
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係	
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)		
エネファーム導入状況(補助制度累計台数)			210台(H30/2018)	430台(R11/2029)		
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます				
	施策の方針	1-1 地球温暖化対策を推進します				
	関連する目標指標	市域からの温室効果ガス排出量				
令和5年度事務事業 環境管理計画						
主な取組の概要			目標値への達成見込	予算額		
市民のライフスタイルや環境に配慮する意識と省エネ効果を高めるため、海老名市内にエネファームを設置した方に対し、経費の一部を補助。			298台	600 千円		
			達成率: 69.3%			
前年度事務事業の実施により発見した課題等						
申請件数が伸びていないことから、環境啓発イベントや広報等で情報発信を継続していく。						
令和5年度事務事業に係る環境影響						
有益影響			有害影響			
・市民及び事業者における省エネの推進 ・市域のエネルギー使用量削減			・再エネ設備導入工事による廃棄物の増加			
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応			
・補助内容に関する意見・要望			・補助内容の見直し			
令和5年度事務事業 実施結果						
主な取組結果の概要					目標値達成実績	
令和3年度	エネファームへの補助実績 ・件数 12件 ・補助額 720,000円 取組実績 ・住宅展示場等の関係機関へポスター、パンフレットを配布 ・駅間自由通路にデジタルポスターを掲載 ・開発事業者への事前の要望 ・申請手続きを代行するハウスメーカー等への早期申請の促進				261台	
					達成率: 60.7%	
令和4年度	エネファームへの補助実績 ・件数 4件 ・補助額 240,000円 取組実績 ・住宅展示場等の関係機関へポスター、パンフレットを配布 ・開発事業者への事前の要望 ・申請手続きを代行するハウスメーカー等への早期申請の促進				265台	
					達成率: 61.6%	
令和5年度	エネファームへの補助実績 ・件数 13件 ・補助額 780,000円 取組実績 ・住宅展示場等の関係機関へポスター、パンフレットを配布 ・開発事業者への事前の要望 ・申請手続きを代行するハウスメーカー等への早期申請の促進				278台	
					達成率: 64.7%	
令和5年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等						
変更点	なし					
課題等	市域内のCO2削減に向けて重要な施策であるため、さらなる普及策について検討します。					
令和5年度事務事業 環境評価						
評価区分	評価	判断理由及び内容				
担当部課 環境評価	3: 概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	目標を達成することはできなかったが、関係機関への周知啓発を図った結果、昨年度より申請数が増えたため、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断します。				
内部環境評価	3: 概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課の環境評価を支持します。目標台数に達しなかったものの、関係機関への周知啓発活動により、申請件数を前年度よりも増やすことができたことは評価できます。今後も取り組みを継続することで、市の環境配慮活動を推進していくことを期待します。				

令和6年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和5年度分)				事業コード	1	—	1	—	d
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係				
個別指標の内容				現状値(年度)		目標値(目標年度)			
低公害車の導入状況(補助制度累計台数)				170台(H30/2018)		500台(R11/2029)			
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます							
	施策の方針	1-1 地球温暖化対策を推進します							
	関連する目標指標	市域からの温室効果ガス排出量							
令和5年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
市民のライフスタイルや環境に配慮する意識と省エネ効果を高めるため、海老名市内で、新規に対象の低公害車を導入された方に対し、費用の一部を補助。				320台			5,300千円		
				達成率: 64%					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
エコカーフェスタの開催により、低公害車について十分な周知ができたことから、電気自動車の申請件数が大幅に伸びた。軽の低公害車が製造され購入しやすくなったことや、県、近隣自治体等の補助額と差があること等から、本補助金の見直しを検討する必要がある。									
令和5年度事務事業に係る環境影響									
有益影響				有害影響					
・市民及び事業者における省エネの推進 ・市域のエネルギー使用量削減				・低公害車の製造による廃棄物の増加					
想定されるコミュニケーション				コミュニケーションへの対応					
・補助内容に関する意見・要望				・補助内容の見直し					
令和5年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和3年度	低公害車への補助実績 ・件数 17件(電気自動車13件、燃料電池自動車4件) ・補助額 3,550,000円							226台	
	取組実績 ・住宅展示場等の関係機関へポスター、パンフレットを配布 ・駅間自由通路にデジタルポスターを掲載							達成率: 45.2%	
令和4年度	低公害車への補助実績 ・件数 79件(電気自動車 79件、燃料電池自動車0件) ・補助額 11,850,000円							305台	
	取組実績 ・住宅展示場等の関係機関へポスター、パンフレットを配布 ・駅間自由通路にデジタルポスターを掲載							達成率: 61%	
令和5年度	低公害車への補助実績 ・件数 53件(電気自動車 53件、燃料電池自動車0件) ・補助額 7,950,000円							358台	
	取組実績 ・住宅展示場等の関係機関へポスター、パンフレットを配布 ・駅間自由通路にデジタルポスターを掲載							達成率: 71.6%	
令和5年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	なし								
課題等	電気自動車のさらなる普及に向け、民間による充電設備の設置促進策について検討します。								
令和5年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価			判断理由及び内容					
担当部課環境評価	3: 概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			昨年度より申請数は減ったが、関係機関への周知啓発を図った結果、目標を上回る結果となったため、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断します。					
内部環境評価	3: 概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			担当部課環境評価の内容を支持します。前年と比較し補助実績の減少はみられますが、令和5年度の達成見込みを上回る結果となったことは評価できます。周知を継続し、市内の低公害車の導入が進むことを期待します。					

【令和6年度評価】目標指標関連事業取組み状況シート（令和5年度分）	
目標指標 （目標値（年度））	令和5年度実績
市域からの温室効果ガス排出量 （794千t-CO2（令和11年度））	828千t-CO2（令和3年度実績）
○上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取組みについて以下に記入してください。 ○記載する内容は事業の概要、実績（なるべく定量的に）、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。 ○記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価（海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価）における参考資料とします。	
○海老名SDGs環境マイレージ事業や環境展を通じて、日常における省エネの取組みを促し、市域内における温室効果ガス削減への意識啓発を行いました。 ○電気自動車用急速充電器（市庁舎）を運用することで、電気自動車ユーザーの利便性を図りました。 ○環境保全対策支援事業において、環境基本計画の目標に掲げる設備以外にも、定置用リチウムイオン蓄電池やHEMSの導入補助を行い、市域内の温室効果ガス削減を推進しました。 ○ウオームビズや省エネ月間の広報記事掲載を通じて、市民への省エネ意識啓発を図りました。	

【令和6年度評価】外部評価シート（令和5年度分）

基本方針					施策の方針	
1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます				2 循環型社会を形成します		
目標指標				令和5年度実績		
(現状値(年度))		(目標値(年度))				
一人1日あたりごみ排出量(家庭系の可燃・資源)				510g		
650g (平成28年度)		650g (令和9年度)				
個別指標			担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント	
リサイクル率			3	3	昨年度と比較すると割合は減少しているものの、レジ袋の有料化や企業等による脱プラの動きがさらに促進されており、プラスチックが家庭から排出される機会が減少傾向にあることが、リサイクル率減少の一因になっていると考える。組成分析を実施し、資源物の混入を確認しているため、今後も啓発は継続していく。	
事業系ごみ排出量			2	3	新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着いたことにより、訪問指導などの対面指導対応の件数を増やすことができた。また、訪問指導時の確認項目の見直しを行っている。しかし、より経済活動が活発化したことにより、事業系ごみ量が増加しているため2と考える。	
市庁舎におけるごみ排出量			2	3	庁舎から排出される排出物の分別徹底により高い資源化率を維持し、環境配慮への取り組みをすることができた。令和4年度のごみ排出量の増加に伴い、業者と連携をして排出物の確認・監視を行い、排出抑制に努めたが、排出量は減らなかった。今年度の課題として、市民利用ごみ箱の家庭ごみ排出、庁内備品整理に伴う廃棄物の処理がある。	
生ごみ処理機の普及率(補助制度実績)			3	3	継続して行っていた啓発に加えて、電話及び窓口のみで受け付けていた事前予約に、LINEによる予約を追加し、手続きの利便性向上を図った。おおむね計画通りの環境配慮を実施できたと思う。	
外部評価						
2		一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。				
判断理由及び評価内容						
●「市庁舎におけるごみ排出量」について ①実際の達成率は70.6%であるが、達成率を121%と誤った計算をしている。 目標値が1361.439kgに対して、実績が1929.48kgと大きく超過しており、目標不達であることは容易に判断できる。 ②評価調書の「現状値(年度)」の項目を「目標値(目標年度)」と勝手に書き換えている。 ③西庁舎入口付近に廃棄物を長期間放置、外部からの指摘により対応。 →外部評価：2 ●リサイクル率、事業系ごみ排出量、生ごみ処理機の普及率(補助金制度)については、概ね計画通りの環境配慮を実施している。 →外部評価：3 ●総合的には評価基準の「2一部計画通りの環境配慮を実施できなかった」に該当する。						

令和6年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和5年度分)				事業コード	1	—	2	—	a
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	廃棄物政策係				
個別指標の内容				現状値(年度)		目標値(目標年度)			
リサイクル率				31.4% (H28/2016)		40% (R11/2029)			
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます							
	施策の方針	1-2 循環型社会を形成します							
	関連する目標指標	一人1日あたりごみ排出量(家庭系の可燃・資源)							
令和5年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
広報等での分別徹底の周知 コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社やリネットジャパンリサイクル株式会社と連携したリサイクルの促進と意識啓発				36%			— 千円		
				達成率: 90 %					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
新たな資源物の分別処理、収集方法などの検討									
令和5年度事務事業に係る環境影響									
有益影響				有害影響					
・ごみの減量化 ・ごみ処理施設の負担軽減				・資源物の運搬・処理にかかるエネルギーの使用					
想定されるコミュニケーション				コミュニケーションへの対応					
・分別に関する問い合わせ				・分別に関する情報提供					
令和5年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和3年度	広報の特集号における記事掲載、分別ガイドの一部修正などにより、市民による適正な分別排出を促した。							32.30%	
								達成率: 81%	
令和4年度	広報の特集号における記事掲載、分別ガイドの一部修正などにより、市民による適正な分別排出を促した。							31.90%	
								達成率: 80%	
令和5年度	広報の特集号における記事掲載、分別ガイドの一部修正などにより、市民による適正な分別排出を促した。事業者との協定締結を行い、水平リサイクル推進に関するPR動画を作成し、Youtubeで公開をした。							31.30%	
								達成率: 78%	
令和5年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	なし								
課題等	新たな資源物の分別処理などの検討								
令和5年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価			判断理由及び内容					
担当部課環境評価	3: 概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			昨年度と比較すると割合は減少しているものの、レジ袋の有料化や企業等による脱プラの動きがさらに促進されており、プラスチックが家庭から排出される機会が減少傾向にあることが、リサイクル率減少の一因になっていると考える。組成分析を実施し、資源物の混入を確認しているため、今後も啓発は継続していく。					
内部環境評価	3: 概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			担当部課環境評価の内容を支持します。 割合は減少してはありますが、新たに事業者と協定を締結し、水平リサイクル推進に向けた啓発活動を行っていることは、評価できます。 課題に挙げている新たな資源物の分別処理の検討を進め、更なるリサイクルの推進に向けての取り組みを期待します。					

令和6年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和5年度分)				事業コード	1	—	2	—	b
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	廃棄物政策係				
個別指標の内容				現状値(年度)		目標値(目標年度)			
事業系ごみ排出量				8,336t (H28/2016)		5,145 (R9/2027)			
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます							
	施策の方針	1-2 循環型社会を形成します							
	関連する目標指標	一人1日あたりごみ排出量(家庭系の可燃・資源)							
令和5年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
多量排出事業所への訪問指導、一般廃棄物収集運搬業許可業者向けの講習会の開催、食品ロス削減方策の検討、生ごみ処理機補助の事業所普及促進啓発活動				7,073t			— 千円		
				達成率: 73 %					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
食品リサイクル及び、市内事業者への生ごみ処理機貸出制度の広報の検討									
令和5年度事務事業に係る環境影響									
有益影響				有害影響					
・ごみの減量化 ・ごみ処理施設の負担軽減				—					
想定されるコミュニケーション				コミュニケーションへの対応					
・事業系ごみに関する問い合わせ				・処理に関する情報提供					
令和5年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和3年度	多量排出事業者への訪問指導実施(5社) 事業者向けのパンフレットの改訂(1月)							8,037t	
								達成率: 64.0%	
令和4年度	多量排出事業者への訪問指導実施(20社) 事業者向けのパンフレットの改訂(8月)							8,331t	
								達成率: 61.7%	
令和5年度	多量排出事業者への訪問指導実施(23社) 事業者向けのパンフレットの改訂(10月) 事業所訪問時の確認内容について、見直しを行った。 座間市・綾瀬市・高座清掃施設組合と協議を行い、焼却施設への事業系ごみ搬入手数料の見直しを行った。(令和6年4月から段階的に引上げ)							8,352t	
								達成率: 61.6%	
令和5年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	事業者向けパンフレットの改定 事業所訪問時の確認内容の見直し								
課題等	見直しを行った確認事項の実用性の確認								
令和5年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価			判断理由及び内容					
担当部課環境評価	2: 一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。			新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着いたことにより、訪問指導などの対面指導対応の件数を増やすことができた。また、訪問指導時の確認項目の見直しを行っている。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着き、より経済活動が活発化したことにより、事業系ごみ量が増加している。一部計画通りの環境配慮を実施できなかったと考える。					
内部環境評価	3: 概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			事業系ごみ量が年々増加しており、令和5年度は現状値(平成28年度)を超えているが、それを踏まえて対面指導件数の増加や訪問時の確認方法の見直しに取り組んでいることは一定の評価ができる。また、令和5年度中に高座清掃施設組合と座間市・綾瀬市と共に事業系ごみ搬入手数料引き上げを検討・決定し、事業系ごみ減量化に効果が高いとされる施策への取り組みを進めたことは、今後の事業系ごみ減量化が期待されると評価した。					

令和6年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和5年度分)				事業コード	1	—	2	—	c
担当部	財務部	担当課	財産・車両課	担当係	管財係				
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)				
市庁舎におけるごみ排出量				1512. 710kg (H30/2018)	1361. 439kg (R11/2029)				
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます							
	施策の方針	1-2 循環型社会を形成します							
	関連する目標指標	一人1日あたりごみ排出量 (家庭系の可燃・資源)							
令和5年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
・市庁舎ごみゼロ研修の開催 (新採用職員向け) 年1回 ・張り紙等による分別に対する意識改革				1594. 031kg			0 千円		
				達成率: 85. 4%					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
コロナウイルス対策緩和による来庁者の増加に伴うごみ排出量の増加、私物の処理方法の意識不足によるごみ排出量の増加が発見されたため、ごみの排出量削減について、検討を進める必要がある。									
令和5年度事務事業に係る環境影響									
有益影響				有害影響					
・ごみの減量化 ・ごみ処理施設の負担軽減				—					
想定されるコミュニケーション				コミュニケーションへの対応					
・集積場所の環境状況への苦情				・定期的な収集及び美化清掃					
令和5年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和3年度	以下の取組を通じて廃棄物の削減、再資源化の推進を図り、環境に配慮した持続可能な施設運営に努めました。 ・市庁舎ごみゼロ研修の開催 (新採用職員向け) を年1回実施 (新採用研修科目として) ・庁内から排出されるごみについては、引き続き分別を徹底し、可能な限りの資源化を図りました (資源化率98. 3%) 。							1469. 94kg	
								達成率: 92. 6%	
令和4年度	以下の取組を通じて廃棄物の削減、再資源化の推進を図り、環境に配慮した持続可能な施設運営に努めました。 ・市庁舎ごみゼロ研修の開催 (新採用職員向け) を年1回実施 (新採用研修科目として) ・庁内から排出されるごみについては、引き続き分別を徹底し、可能な限りの資源化を図りました (資源化率97. 7%) しかしながら、7月・8月・10月焼却ごみの排出量が大きく増加し、早急な実態把握の必要がある。							1585. 39kg	
								達成率: 85. 9%	
令和5年度	以下の取組を通じて廃棄物の削減、再資源化の推進を図り、環境に配慮した持続可能な施設運営に努めました。 ・市庁舎ごみゼロ研修の開催 (新採用職員向け) を年1回実施 (新採用研修科目として) ・不適切なゴミ出し及び家庭ごみ発見時の確認・指導 ・庁内から排出されるごみについては、引き続き分別を徹底し、可能な限りの資源化を図りました (資源化率97. 7%) 本年度は、委託業者と連携し、庁内で出るごみの監視を行いました。4月・5月・6月の焼却ごみ排出量が著しく増加してしまった。庁舎の備品廃棄に伴い、排出量が増加したことが考えられる。また、1年を通し、市民による廃棄物の増加が見られた。							1929. 48kg	
								達成率: 70. 6%	
令和5年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	委託業者と連携し、庁内ごみの出し方等に問題があった場合は排出状況の確認や指導を行った。								
課題等	市民利用のごみ箱について、廃棄物の増加及び分別の不足、家庭ごみと思われる廃棄物の排出が見られた。貼り紙はしているが、見やすくする等の工夫が必要である。 庁舎内の備品の整理等に伴うごみについては、分別の徹底を行い、再資源化に努める。								
令和5年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価			判断理由及び内容					
担当部課環境評価	2: 一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。			庁舎から排出される排出物の分別徹底により高い資源化率を維持し、環境配慮への取り組みをすることができた。令和4年度のごみ排出量の増加に伴い、業者と連携をして排出物の確認・監視を行い、排出抑制に努めたが、排出量は減らなかった。 今年度の課題として、市民利用ごみ箱の家庭ごみ排出、庁内備品整理に伴う廃棄物の処理がある。					
内部環境評価	3: 概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			庁舎内におけるごみの排出量が増加傾向にあるものの、庁舎内での呼びかけや指導等の徹底により、高い資源化率を維持できているため、取り組みの成果について評価します。 ごみ排出量削減は、一人ひとりの心がけが大切であると考え、引き続き、庁内における周知徹底や新たな取り組みを広げていくなど、目標達成に向けた取り組みをお願いします。					

令和6年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和5年度分)				事業コード	1	—	2	—	d
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	廃棄物政策係				
個別指標の内容				現状値(年度)		目標値(目標年度)			
生ごみ処理機設置費補助制度の普及率(補助制度実績)				8.9%(H28/2016)		10%(R11/2029)			
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます							
	施策の方針	1-2 循環型社会を形成します							
	関連する目標指標	一人1日あたりごみ排出量(家庭系の可燃・資源)							
令和5年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
生ごみ処理機設置費補助制度、事業者向け貸出制度				10%			9,094 千円		
				達成率: 100 %					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
令和5年度事務事業に係る環境影響									
有益影響					有害影響				
・ごみの減量化 ・ごみ処理施設の負担軽減					・近隣への悪臭の発生				
想定されるコミュニケーション					コミュニケーションへの対応				
・処理機の使用に伴う苦情					・適切な使用方法の伝達				
令和5年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和3年度	広報や自治会回覧のほか、駅前の三井住友銀行展示スペースでの展示を行った。 また、YouTube動画にて生ごみ処理機の啓発を行った。							11.9% (処理機累計基数/ R2.4.1世帯数)	
								達成率: 119%	
令和4年度	広報や自治会回覧のほか、駅前の三井住友銀行展示スペースでの展示を行った。 新型コロナウイルス感染拡大でブース出展等ができてなかったコミセン祭りに参加啓発を行った。 非電動式生ごみ処理機の補助上限を引き上げた。							9.16% (処理機累計基数/ R4.4.1世帯数)	
								達成率: 91.6%	
令和5年度	広報や自治会回覧のほか、駅前の三井住友銀行展示スペースでの展示を行った。 補助金のLINE事前予約を開始							11.1% (処理機累計基数/ R5.4.1世帯数)	
								達成率: 110%	
令和5年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	LINEの事前予約を開始								
課題等	非電動式生ごみ処理機の普及促進								
令和5年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価			判断理由及び内容					
担当部課 環境評価	3: 概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			継続して行っていた啓発に加えて、電話及び窓口のみで受け付けていた事前予約に、LINEによる予約を追加し、手続きの利便性向上を図った。おおむね計画通りの環境配慮を実施できたと考える。					
内部環境評価	3: 概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			継続的な周知・啓発に加え、新たな予約方法に取り組んでいることから、担当部課評価を支持します。 補助制度利用者のさらなる増加に期待します。					

【令和6年度評価】目標指標関連事業取組み状況シート（令和5年度分）	
目標指標 （目標値（年度））	令和5年度実績
一人1日あたりごみ排出量（家庭系の可燃・資源） （650g（令和9年度））	510g
○上記目標指標に連なる個別指標に関する取組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取組みについて以下に記入してください。 ○記載する内容は事業の概要、実績（なるべく定量的に）、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。 ○記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価（海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価）における参考資料とします。	
○生ごみ処理機設置費補助金活用 of 申込が多数寄せられている。（電動式214件、非電動式19件） ○より多くの方に補助金を周知できるよう、自由通路デジタルサイネージでの啓発や、三井住友銀行のショーウィンドーでの生ごみ処理機の展示を行った。 ○事前予約方法にLINE予約を追加	

【令和6年度評価】外部評価シート（令和5年度分）

基本方針		施策の方針	
1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます		3 緑・水・生きものと共生します	
目標指標		令和5年度実績	
(現状値(年度))	(目標値(年度))		
生き物とのふれあいに対する意識（環境アンケート：地域の生きものとのふれあいについて良い、やや良いと回答した人の割合）		アンケート実施なし	
48.2% (平成30年度)	50.0% (令和11年度)		
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
自然緑地保全区域面積・樹木数	2	2	上記課題等のとおり、年々指定解除の相談が増えており、今年度についても保全区域・保存樹木ともに指定解除をしたため。
緑化に関する情報の発信回数	3	3	「緑化ポスターコンクール」を実施することができ、海老名中央公園で表彰式を行うことで多くの人へ緑化について発信することができた。また、「さつき展」についても、市役所に来庁される方々に広く周知することができた。
生物多様性に関する情報の発信回数	3	3	えびな生き物大調査について、エントランスホールへの展示や調査報告書を通じて、海老名市の生物多様性を広く啓発できたため、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断します。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。		
判断理由及び評価内容			
各指標の達成度は、内部評価通りであり内部評価結果を支持します。 ただし、今後の課題として、令和11年度の目標を達成するために、単年度目標をしっかりと立て、その達成率をみていく形にするとよいです。今のままでは、単年度目標が明確になっておらず、単年度の是正が行いにくくなっています。			

令和6年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和5年度分)				事業コード	1 — 3 — a
担当部	まちづくり部	担当課	都市施設公園課	担当係	総務係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
自然緑地保全区域面積・樹木数			150626.16㎡/193本 (R1/2019)	150000.00㎡ /193本 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます			
	施策の方針	1-3 緑・水・生きものと共生します			
	関連する目標指標	生き物とのふれあいに対する意識(環境アンケート：地域の生きものとのふれあいについて良い、やや良いと回答した人の割合)			
令和5年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込		予算額
多様な機能を有する緑の保全のため、自然緑地保全区域・自然緑地保存樹木を指定し、奨励金の交付を実施			140,000.00㎡/168本		6,888 千円
			達成率： 93.3 %		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
樹木の所有者や樹木自体が高齢化していることから、維持管理が困難になり、枯死・滅失が増加している。また、ほとんどの緑地や樹木が指定されているため、新規の指定が困難である。					
令和5年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・森林資源の保護 ・温室効果ガス吸収作用の保全創造			・近隣の日照時間の減少 ・落葉等のゴミの増加		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・樹木からの落葉による苦情 ・樹木を剪定伐採したことによる景観上の苦情			・生活環境と景観に配慮した管理方法の周知		
令和5年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
令和3年度	自然緑地保全区域等所有者に対する交付実績 ・自然緑地保全区域 9 2 件 5,284,735円 ・自然緑地保存樹木 1 7 1 件 682,000円 ・保存生垣 3 0 件 198,600円			143,776.36/150,000	
				175/193本	
				達成率：95%	
令和4年度	自然緑地保全区域等所有者に対する交付実績 ・自然緑地保全区域 9 1 件 5,286,340円 ・自然緑地保存樹木 1 7 0 件 674,000円 ・保存生垣 2 5 件 173,600円			140,529.36/150,000	
				172/193本	
				達成率：93%	
令和5年度	自然緑地保全区域等所有者に対する交付実績 ・自然緑地保全区域 8 9 件 5,253,730円 ・自然緑地保存樹木 1 6 5 件 654,000円 ・保存生垣 1 5 件 87,000円			136,329.36/150,000	
				165/193本	
				達成率：90%	
令和5年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	なし				
課題等	区域や樹木の所有者による管理が高齢化に伴い、難しくなっており、相続や売却などによる指定解除の相談が増加している。				
令和5年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	2：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	上記課題等のとおり、年々指定解除の相談が増えており、今年度についても保全区域・保存樹木ともに指定解除をしたため。			
内部環境評価	2：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	担当部課環境評価の内容を支持します。 目標達成率の低下はやむを得ない状況も理解できますので、目標値の設定や代替案についての検討をお願いします。			

令和6年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和5年度分)				事業コード	1 — 3 — b
担当部	まちづくり部	担当課	都市施設公園課	担当係	総務係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
緑化に関する情報の発信回数			2回 (R1/2019)	3回 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます			
	施策の方針	1-3 緑・水・生きものと共生します			
	関連する目標指標	生き物とのふれあいに対する意識 (環境アンケート：地域の生きものとのふれあいについて良い、やや良いと回答した人の割合)			
令和5年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要		目標値への達成見込		予算額	
緑化ポスターコンクールやさつき展等の事業に関する情報を広報等に掲載		3		0 千円	
		達成率：100%			
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
令和5年度事務事業に係る環境影響					
有益影響		有害影響			
・緑を保全・育成する意識の向上		—			
想定されるコミュニケーション		コミュニケーションへの対応			
・緑化手法に関する問い合わせ		・適切な緑化手法の周知 ・緑化に係る補助制度の情報提供			
令和5年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
令和3年度	小学生の夏休みの宿題として「緑化ポスターコンクール」を行い、応募や受賞者の紹介などを広報で情報発信するとともに、その他、HPにて緑化に係る発信を行った。 なお、「花と緑の写真コンクール」及び「さつき展」は開催しなかった。			3	
				達成率：100 %	
令和4年度	小学生の夏休みの宿題として「緑化ポスターコンクール」を行い、応募や受賞者の紹介などを広報で情報発信するとともに、表彰式を海老名中央公園にて行った。 また、「さつき展」は3年ぶりに5月30日、31日に開催することができた。			3	
				達成率：100 %	
令和5年度	小学生の夏休みの宿題として「緑化ポスターコンクール」を行い、応募や受賞者の紹介などを広報で情報発信するとともに、表彰式を海老名中央公園にて行った。 また、「さつき展」についても5月22日～25日まで市役所1階にて開催された。			3	
				達成率：100 %	
令和5年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	なし				
課題等	なし				
令和5年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	「緑化ポスターコンクール」を実施することができ、海老名中央公園で表彰式を行うことで多くの人へ緑化について発信することができた。また、「さつき展」についても、市役所に来庁される方々に広く周知することができた。			
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。児童期から環境への興味関心を深める事業を実施することにより、地球にやさしい社会の醸成に効果があると判断します。			

令和6年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和5年度分)				事業コード	1 — 3 — c
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
生物多様性に関する情報の発信回数			3回 (R1/2019)	6回 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます			
	施策の方針	1-3 緑・水・生きものと共生します			
	関連する目標指標	生き物とのふれあいに対する意識(環境アンケート：地域の生きものとのふれあいについて良い、やや良いと回答した人の割合)			
令和5年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要		目標値への達成見込		予算額	
・ホームページによる情報の発信 ・窓口でのチラシの配架		4		— 千円	
		達成率： 66.6%			
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
小学生を中心とした「いきもの大調査」を実施し、多くの参加者が生物多様性の重要性を学ぶ良い機会になった。参加人数の減少が見られたため、さらなる周知に努めていきます。					
令和5年度事務事業に係る環境影響					
有益影響		有害影響			
・生物多様性を保全する意識の向上		—			
想定されるコミュニケーション		コミュニケーションへの対応			
・生物多様性の保全手法に関する問い合わせ		・適切な生物多様性の保全手法の周知			
令和5年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
令和3年度	・特定外来生物(ヒアリ・セアカゴケグモ・オオキンケイギク)に関する周知をホームページで実施しました。 ・「えびな生きもの大調査」を実施し、小学生を中心に231名の参加がありました。調査結果をエントランスホールに展示するとともに、調査報告書に取りまとめ、ホームページ等で公開したほか、市内小学校の各クラスに配布しました。			4回	
				達成率：66.6%	
令和4年度	・特定外来生物(ヒアリ・セアカゴケグモ・オオキンケイギク)に関する周知をホームページで実施しました。 ・「えびな生きもの大調査」を実施し、小学生を中心に145名の参加がありました。調査結果をエントランスホールに展示するとともに、調査報告書に取りまとめ、ホームページ等で公開したほか、市内小学校の各クラスに配布しました。			4回	
				達成率：66.6%	
令和5年度	・特定外来生物(ヒアリ・セアカゴケグモ・オオキンケイギク)に関する周知をホームページで実施しました。 ・「えびな生きもの大調査」を実施し、小学生を中心に94名の参加がありました。調査結果をエントランスホールに展示するとともに、調査報告書に取りまとめ、ホームページ等で公開しました。			4回	
				達成率：66.6%	
令和5年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	なし				
課題等	えびな生き物大調査への参加者をさらに増やしていくための手法について研究を進めます。				
令和5年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	えびな生き物大調査について、エントランスホールへの展示や調査報告書を通じて、海老名市の生物多様性を広く啓発できたため、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断します。			
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課評価の内容を支持します。生物多様性の重要性を市民に理解させるためには、その啓発事業が不可欠です。そのために、チラシの配布、市ホームページを活用した周知、及び小学生向けに「えびな生き物大調査」を実施したことは評価できます。今後もマンネリにならないよう工夫した啓発事業を期待します。			

【令和6年度評価】目標指標関連事業取組み状況シート（令和5年度分）	
目標指標 （目標値（年度））	令和5年度実績
生き物とのふれあいに対する意識（環境アンケート：地域の生きものとのふれあいについて良い、やや良いと回答した人の割合） 50.0%（令和11年度）	アンケート実施なし
○上記目標指標に連なる個別指標に関する取組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取組みについて以下に記入してください。 ○記載する内容は事業の概要、実績（なるべく定量的に）、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。 ○記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価（海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価）における参考資料とします。 ○「えびな生きもの大調査」を実施し、小学生を中心に94名の参加がありました。調査結果をエントランスホールに展示するとともに、調査報告書に取りまとめ、ホームページ等で公開したほか、市内小学校の各クラスに配布しました。 ○市民が市内生物たちと楽しく安全に触れ合えるよう（主に河川）、水質の汚濁に日頃から気を配り、触れ合いやすい環境づくりに取り組みました。	

【令和6年度評価】外部評価シート（令和5年度分）

基本方針		施策の方針	
2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します		1 水環境を守ります	
目標指標		令和5年度実績	
(現状値(年度))	(目標値(年度))		
河川水質環境基準達成状況		問題なし	
問題なし (平成30年度)	問題なし (令和11年度)		
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
水洗化率	3	3	数値としての伸びは無かったが、令和5年度変更点である未水洗化家屋への通知を行ったことで、下水道接続に至った例もあり、目標達成に向かっていていると判断した。
公共下水道の普及率	3	3	市役所周辺地区の下水道布設に係る説明会を行った。計画的に整備を進めている。
水循環に関する情報の発信回数	3	3	広報えびな及び高座地区河川をきれいにする会会報誌での情報発信を実施できたため、概ね計画どおりの環境配慮が実施できたと評価します。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。		
判断理由及び評価内容			
活動状況から、一生懸命取り組んでいる状況がよくわかります。3と評価します。 さらに今後の活動として下記取り組んでいただきたい。 2-1-a、最新の状況把握のため是非改めてアンケートとってください。必ず必要な情報が得られます。全地域の確認作業が大変なことわかります。是非、地区を区切って確認できた所から順次発送して、全地域に通知してください。 2-1-b、説明会で出た要望・意見で対応できるものは、是非対応してください。説明会はコミュニケーションとして大変重要です。今後もできるだけ開催して市民との対話を促進してください。 2-1-c、個別指標は、中間見直しで検討してください。周知方法の検討で、SNS等活用した周知方法などは是非検討して実現してください。			

令和6年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和5年度分)				事業コード	2 — 1 — a		
担当部	まちづくり部	担当課	下水道課	担当係	業務係		
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)		
水洗化率				98.2% (H30/2018)	100% (R11/2029)		
計画体系上の位置付け	基本方針	2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します					
	施策の方針	2-1 水環境を守ります					
	関連する目標指標	河川水質環境基準達成状況					
令和5年度事務事業 環境管理計画							
主な取組の概要				目標値への達成見込		予算額	
- 適切な水洗化手法の周知 - 水洗化に係る補助制度の情報提供 - 未水洗化家屋への通知				98.4% (0.2%増)		3,492 千円	
				達成率: 98.4%			
前年度事務事業の実施により発見した課題等							
達成率(水洗化率)が98%を超え、横ばい状態となっている。下水道事業のPRの見直しを検討する。							
令和5年度事務事業に係る環境影響							
有益影響				有害影響			
- 水質保全 - 生活環境の改善				水洗化工事による廃棄物の増加			
想定されるコミュニケーション				コミュニケーションへの対応			
水洗化手続きに関する問い合わせ				- 適切な水洗化手法の周知 - 水洗化に係る補助制度の情報提供			
令和5年度事務事業 実施結果							
主な取組結果の概要						目標値達成実績	
令和3年度	○水洗便所改造等助成金の交付 - 件数 20件 - 助成金 600,000円(一人あたり30,000円) ○取組実績 - パンフレットの配布 - ホームページへ掲載					98.3%	
						達成率: 98.3%	
令和4年度	○水洗便所改造等助成金の交付 - 件数 20件 - 助成金 600,000円(一人あたり30,000円) ○取組実績 - パンフレットの配布 - ホームページへ掲載 - 助成案内を対象者へ通知					98.4	
						達成率: 98.4%	
令和5年度	○水洗便所改造等助成金の交付 - 件数 14件 - 助成金 420,000円(一人あたり30,000円) ○取組実績 - パンフレットの配布 - ホームページへ掲載 - 助成案内を対象者へ通知					98.4	
						達成率: 98.4%	
令和5年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等							
変更点	地区ごとに下水接続可能にも関わらず未水洗の家屋をリストアップし、水洗化のお願いについて通知を行った。						
課題等	達成率(水洗化率)が98%を超え、横ばい状態となっている。 リストアップについては件数が多く、全ての地域に通知を送ることが出来ていないため、R6年度も継続して通知を行う。						
令和5年度事務事業 環境評価							
評価区分	評価	判断理由及び内容					
担当部課環境評価	3: 概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	数値としての伸びはなかったが、令和5年度変更点である未水洗化家屋への通知を行ったことで、下水道接続に至った例もあり、目標達成に向かってしていると判断した。					
内部環境評価	3: 概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価を支持します。 引き続き市民へ丁寧説明をしながら、公共下水道の普及に努めていただきたいと思います。					

令和6年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和5年度分)				事業コード	2	—	1	—	b
担当部	まちづくり部	担当課	下水道課	担当係	管路施設係				
個別指標の内容				現状値(年度)		目標値(目標年度)			
公共下水道の普及率				95.9% (H30/2018)		100% (R11/2029)			
計画体系上の位置付け	基本方針	2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します							
	施策の方針	2－1 水環境を守ります							
	関連する目標指標	河川水質環境基準達成状況							
令和5年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
・ 下水道工事予定箇所の周辺住人への事前説明会の実施 ・ 迅速な工事の実施				96.4% (0.5%増)			377,095 千円		
				達成率：96.4%					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
下水道整備についての住民理解のため、丁寧な説明、更なる下水道PRが必要である。									
令和5年度事務事業に係る環境影響									
有益影響				有害影響					
・ 水質保全 ・ 生活環境の改善				・ 下水道工事による廃棄物の増加					
想定されるコミュニケーション				コミュニケーションへの対応					
・ 下水道工事に関する苦情				・ 迅速な工事の実施 ・ 工事内容の丁寧な説明					
令和5年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和3年度	○取組実績 ・ 市街化区域の公共下水道污水管渠の埋設工事 ・ 市街化調整区域の公共下水道污水管渠の埋設工事 ・ 公共下水道污水枡設置の申し出に基づく、設置工事							96.2%	
								達成率：96.2%	
令和4年度	○取組実績 ・ 市街化調整区域の公共下水道污水管渠の埋設工事 ・ 公共下水道污水枡設置の申し出に基づく、設置工事 ・ 公共下水道污水管渠整備を実施するための詳細設計委託							96.4%	
								達成率：96.4%	
令和5年度	○取組実績 ・ 市街化調整区域及び市役所周辺地区への公共下水道污水管渠の埋設工事 ・ 公共下水道污水枡設置の申し出に基づく、設置工事 ・ 公共下水道污水管渠整備を実施するための詳細設計委託							96.5%	
								達成率：96.5%	
令和5年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	なし								
課題等	達成率（普及率）が96%を超え、横ばい状態となっている。 市役所周辺地区をはじめ、公共下水道污水管渠未整備区域の計画的かつ迅速な整備を進める。								
令和5年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価			判断理由及び内容					
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			市役所周辺地区の下水道布設に係る説明会を行った。計画的に整備を進めている。					
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			担当部課環境評価を支持します。 引き続き市民へ丁寧に説明をしながら、公共下水道の普及に努めていただきたいと思います。					

令和6年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和5年度分)				事業コード	2	—	1	—	c
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係				
個別指標の内容				現状値(年度)		目標値(目標年度)			
水循環に関する情報の発信回数				1回 (R1/2019)		3回 (R11/2029)			
計画体系上の位置付け	基本方針	2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します							
	施策の方針	2-1 水環境を守ります							
	関連する目標指標	河川水質環境基準達成状況							
令和5年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
河川の水質調査結果について、広報えびな等にて情報発信				2回			1,669 千円		
				達成率： 50%					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
市内の水環境のさらなる周知を図るため、広報えびな等における水質調査結果の発信にあたり、市民により分かりやすい記載方法の検討に努めていきます。									
令和5年度事務事業に係る環境影響									
有益影響				有害影響					
・ 水環境の保全意識の向上				—					
想定されるコミュニケーション				コミュニケーションへの対応					
・ 水環境の保全手法に関する問い合わせ				・ 適切な水環境の保全手法の周知					
令和5年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和3年度	・ 環境調査結果として「広報えびな」に河川の水質調査結果を掲載することで、市民に対して市内の水質状況の周知を図りました。 ・ 「高座地区河川をきれいにする会」の会報誌に、市内の河川水質状況を掲載し周知を図りました。							2回	
								達成率：50%	
令和4年度	・ 環境調査結果として「広報えびな」に河川の水質調査結果を掲載することで、市民に対して市内の水質状況の周知を図りました。 ・ 「高座地区河川をきれいにする会」の会報誌に、市内の河川水質状況を掲載し周知を図りました。							2回	
								達成率：50%	
令和5年度	・ 環境調査結果として「広報えびな」に河川の水質調査結果を掲載することで、市民に対して市内の水質状況の周知を図りました。 ・ 「高座地区河川をきれいにする会」の会報誌に、市内の河川水質状況を掲載し周知を図りました。							2回	
								達成率：50%	
令和5年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	なし								
課題等	広報えびな及び高座地区河川をきれいにする会会報誌以外での周知方法の検討。								
令和5年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価			判断理由及び内容					
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			広報えびな及び高座地区河川をきれいにする会会報誌での情報発信を実施できたため、概ね計画どおりの環境配慮が実施できたと評価します。					
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			担当部課評価の内容を支持します。水環境の保全意識の高揚を図るためには、まず現在の水質状況を調査しその結果を公表することが重要と考えます。そのために「広報えびな」で調査結果を報告するとともに市内の水質状況の周知を図っていることは有用です。また、関係団体の会報で周知を図っていることも評価できます。今後も、市民に分かりやすい啓発に努めていただくことを要望します。					

【令和6年度評価】目標指標関連事業取組み状況シート（令和5年度分）	
目標指標 （目標値（年度））	令和5年度実績
河川水質環境基準達成状況 （問題なし（令和11年度））	問題なし
○上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取組みについて以下に記入してください。 ○記載する内容は事業の概要、実績（なるべく定量的に）、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。 ○記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価（海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価）における参考資料とします。	
○河川の水質は、河川事故によって汚濁されてしまうため、河川事故があった際は迅速かつ正確に対応をしている。特に油が河川に流入し油膜が流れている時は、オイルフェンスを設置することで下流への影響を抑え、塞ぎ止めた油はオイルマットを用いて吸着作業をしている。 ○現場へ行き河川の近くを通る際は、河川の臭気や水が濁っていないかを確認し、異常時にも対応できるよう日々心掛けて業務に専念している。また、現場確認した状況はリストで管理し、チェックできるようにしている。	

【令和6年度評価】外部評価シート（令和5年度分）

基本方針		施策の方針	
2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します		2 生活環境を守ります	
目標指標		令和5年度実績	
(現状値(年度))	(目標値(年度))		
公害・環境に関する相談件数		58件	
64件 (平成30年度)	50件 (令和11年度)		
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
大気質環境基準達成状況	3	3	市内21箇所で窒素酸化物簡易測定調査を行いました。 また、大気汚染（屋外焼却行為）等に対する苦情相談を受け、迅速な対応及び状況に応じた指導を行ったため、概ね計画どおりの環境配慮が実施できたと評価します。
コミュニティバス利用者数	3	3	計画通りに取組を進めることができた。また、行動変容に伴い、輸送人員が回復傾向にあり目標値を達成できた。
騒音に関する相談件数	3	3	騒音苦情を受け迅速に現場対応を行い、苦情者の不安要素解消のために日々職務に邁進したため、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと評価します。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。		
判断理由及び評価内容			
・大気質の環境基準値の達成状況の調査は、継続して実施してください。 ・コミュニティバスの他に新たに、新たに高齢者向けのYouBusの実証運行を行うなど「健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します」に向けた活動を積極的に行っています。 ・騒音に関するする苦情処理は、地味な活動ですが着実に進めています。			

令和6年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和5年度分)				事業コード	2 — 2 — a
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
大気質環境基準達成状況			達成 (H30/2018)	達成 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します			
	施策の方針	2-2 生活環境を守ります			
	関連する目標指標	公害・環境に関する相談件数			
令和5年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込	予算額	
市内21箇所で実施している窒素酸化物簡易測定調査			基準値達成	1,081 千円	
			達成率： — %		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
屋外焼却行為（野焼き）に係る苦情・相談が多く寄せられました。気象条件や風向き等、発生時のデータを記録し、今後の対策に役立てていきます。					
令和5年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・生活環境の保全			—		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・空気汚染に関する公害苦情			・迅速な現場対応 ・環境基準等の丁寧な説明		
令和5年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
令和3年度	・窒素酸化物簡易測定、ダイオキシン類分析調査を行いました。 ・大気汚染（屋外燃焼行為等）による悪臭等の苦情・相談に対し、原因者への指導を実施しました（発生件数27件）。 ・光化学スモッグの発生に備えて、発生時の情報伝達訓練を実施しました（発生件数3件）。			基準値達成	
				達成率： — %	
令和4年度	・窒素酸化物簡易測定、ダイオキシン類分析調査を行いました。 ・大気汚染（屋外燃焼行為等）による悪臭等の苦情・相談に対し、原因者への指導を実施しました（発生件数33件）。 ・光化学スモッグの発生に備えて、発生時の情報伝達訓練を実施しました（発生件数1件）。			基準値達成	
				達成率： — %	
令和5年度	・窒素酸化物簡易測定、ダイオキシン類分析調査を行いました。 ・大気汚染（屋外燃焼行為等）による悪臭等の苦情・相談に対し、原因者への指導を実施しました（発生件数28件）。 ・光化学スモッグの発生に備えて、発生時の情報伝達訓練を実施しました（発生件数1件）。			基準値達成	
				達成率： — %	
令和5年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	なし				
課題等	県の条例で例外的に認められている屋外焼却行為に対しても苦情が一定数あり、苦情者に理解を得ることが難しい。				
令和5年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	市内21箇所で窒素酸化物簡易測定調査を行いました。また、大気汚染（屋外焼却行為）等に対する苦情相談を受け、迅速な対応及び状況に応じた指導を行ったため、概ね計画どおりの環境配慮が実施できたと評価します。			
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課評価の内容を支持します。大気質環境の保全を図るためには、大気汚染に係る調査・分析を行うことが必要です。そこで、市内21箇所で窒素酸化物簡易調査を行い、環境汚染に係る原因を発生させているものに対して、指導を行っていることは大変重要なことで環境配慮を実施できたものと考えます。今後も引き続き調査分析を継続するとともに、屋外焼却行為については、適切な指導をお願いします。			

令和6年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和5年度分)				事業コード	2	—	2	—	b
担当部	まちづくり部	担当課	都市計画課			担当係	交通政策係		
個別指標の内容					現状値(年度)		目標値(目標年度)		
コミュニティバス利用者数					257, 237人 (H30/2018)		259, 150人 (R11/2029)		
計画体系上の位置付け	基本方針	2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します							
	施策の方針	2-2 生活環境を守ります							
	関連する目標指標	公害・環境に関する相談件数							
令和5年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
市内3ルートのコミュニティバスの運行を継続する。また、市ホームページやバス車内において利用状況等の周知を行う。				254, 479人			53, 925 千円		
				達成率： 98.2%					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
行動変容に伴う輸送人員の変化									
令和5年度事務事業に係る環境影響									
有益影響				有害影響					
・自動車からの利用転換による排気ガスの抑制				・排気ガスの排出 ・ガソリンの使用					
想定されるコミュニケーション				コミュニケーションへの対応					
・コミュニティバスの運行状況に関する問い合わせ ・苦情				・適切な運行状況の説明					
令和5年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要							目標値達成実績		
令和3年度	温室効果ガスの削減を目標に、コミュニティバスの利用促進に繋がる情報発信等に努めました。 ○ 市HP等情報発信回数：1 2回						205, 195		
							達成率：79.2%		
令和4年度	温室効果ガスの削減を目標に、コミュニティバスの利用促進に繋がる情報発信等に努めました。 ○ 市HP等情報発信回数：1 2回						247, 905		
							達成率：95.7%		
令和5年度	温室効果ガスの削減を目標に、コミュニティバスの利用促進に繋がる情報発信等に努めました。 ○ 市HP等情報発信回数：1 2回						270, 499		
							達成率：104.4%		
令和5年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	令和5年10月の運賃改定（大人1乗車150円→200円）及び市内在住の高齢者及び障害者手帳保有者を対象とした「YouBusぬくもり乗車証」制度（1乗車100円）を導入した。								
課題等	沿線利用者の需要に合ったダイヤ設定等の利用促進策の展開								
令和5年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価			判断理由及び内容					
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			計画通りに取組を進めることができた。また、行動変容に伴い、輸送人員が回復傾向にあり目標値を達成できた。					
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			担当部課評価を支持します。 路線バスの初乗運賃のアップに合わせ、平成17年から据え置いていた運賃の改定を行うとともに、社会的弱者に配慮した新しい乗車制度の導入を行い、本事業の安定的な運営に取り組んでいることを確認しました。今後も、より市民のニーズに合った事業運営を行い、更に利用者の増加となるような利用促進策の展開を期待します。					

令和6年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和5年度分)				事業コード	2 — 2 — c
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
騒音に関する相談件数			22件 (H30/2018)	22件 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します			
	施策の方針	2-2 生活環境を守ります			
	関連する目標指標	公害・環境に関する相談件数			
令和5年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込	予算額	
事業所から寄せられる騒音苦情相談に伴う相談者への聞き取り及び事業所への指導			8	— 千円	
			達成率： — %		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
騒音苦情の多くは、建設・解体工事に伴う騒音苦情であった。事業者に対し、騒音規制法に基づく届出の提出や、周辺住民への配慮を引き続き求めています。					
令和5年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・生活環境の保全			—		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・騒音に関する公害苦情			・迅速な現場対応 ・騒音基準等の丁寧な説明		
令和5年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
令和3年度	騒音規制法及び神奈川県生活環境の保全等に関する条例の基準に基づき現場対応を行い、状況に応じて適切な指導等を実施しました。 また、建設・解体工事における苦情においては、騒音規制法に該当する機械を使用している場合には適切に届出が提出されているかの確認を徹底しました。			8件	
				達成率： — %	
令和4年度	騒音規制法及び神奈川県生活環境の保全等に関する条例の基準に基づき現場対応を行い、状況に応じて適切な指導等を実施しました。 また、建設・解体工事における苦情においては、騒音規制法に該当する機械を使用している場合には適切に届出が提出されているかの確認を徹底しました。			16件	
				達成率： — %	
令和5年度	騒音規制法及び神奈川県生活環境の保全等に関する条例の基準に基づき現場対応を行い、状況に応じて適切な指導等を実施しました。 また、建設・解体工事における苦情においては、騒音規制法に該当する機械を使用している場合には適切に届出が提出されているかの確認を徹底しました。			24件	
				達成率： — %	
令和5年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	なし				
課題等	規制基準以下の音であっても、騒音と感じる音の大きさは人によって異なるため苦情に繋がる 경우가多く、課として対応に苦慮する場合がある。				
令和5年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	騒音苦情を受け迅速に現場対応を行い、苦情者の不安要素解消のために日々職務に邁進したため、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと評価します。			
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課評価の内容を支持します。騒音にかかる苦情は、市民にとっては身体的・精神的苦痛を伴う問題で、迅速な解決を図る必要があります。そのためには、関係法令等に基づく現地調査と必要に応じた指導が不可欠です。建設・解体事業者には、法令に基づく届出の確認を徹底するとともに、騒音に係る市民からの苦情には、市民に寄り添う親身な対応を希望します。			

【令和6年度評価】目標指標関連事業取組み状況シート（令和5年度分）	
目標指標 （目標値（年度））	令和5年度実績
公害・環境に関する相談件数 （50件（令和11年度））	58件
○上記目標指標に連なる個別指標に関する取り組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取組みについて以下に記入してください。 ○記載する内容は事業の概要、実績（なるべく定量的に）、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。 ○記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価（海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価）における参考資料とします。	
○屋外焼却行為（野焼き）の苦情件数が多く、条例で例外として認められている農家による屋外焼却行為も多く含まれる。近年、海老名市の人口が少しずつ増加していく中、農家による野焼きになじみのない人も多く転入してくる。相談があるたび、現場確認を行い、農家に注意喚起を行うとともに、相談者に農家による野焼きは例外的に認められている旨を説明している。また、農協を通じて農家に対し屋外焼却行為の注意喚起回覧を行うことで、屋外焼却行為の苦情件数の減少を図る。 ○過去に苦情を受けた現場付近を通るときは、時間があれば気にかけて見るようにしている。そうすることで、苦情再発の可能性の有無を確認できたり、再度苦情申立てがあっても苦情者との話しの相違を減らすことができる。	

【令和6年度評価】外部評価シート（令和5年度分）

基本方針		施策の方針	
3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます		1 都市環境を整備します	
目標指標		令和5年度実績	
（現状値（年度））	（目標値（年度））		
これから海老名市に住みたいか（市政アンケート：ずっと住みたい、できれば住み続けたいと回答した人の割合）		アンケート実施なし	
90.3% （令和元年度）	90.3% （令和11年度）		
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
道路整備への満足度（市政アンケート：幹線・生活道路の整備に満足・やや満足と回答した人の割合）	3	3	当初予定していた道路整備工事が概ね予定どおりに工事を進められたことや、工事受注業者に環境配慮型建設機械を使用したことから、概ね計画どおりの環境配慮を実施できたと判断します。今後も幹線道路・準幹線道路及び生活道路の整備により道路ネットワークを充実させ、近隣住民の住環境の向上に取り組みます。
美化推進員のポイ捨て、路上喫煙巡回日数	3	3	指導件数について、減少しているが、海老名駅西口喫煙所におけるマナー違反者への指導件数が減少したものと考えられる。また、計画通り巡回を行い、美化清掃も行っているため、計画通りの環境配慮を実施できたものとする。
えびなクリーン作戦参加者累計数	2	2	市が主催した一斉美化活動は、開催していない。しかし、海老名市きれいなまちづくり事業や美化デー等の地域美化活動が定着してきているため、一部計画通りの環境配慮を実施できなかったものとする。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。		
判断理由及び評価内容			
海老名クリーン作戦が未実施であったものの、生活インフラの需要部分である道路整備も着実に実行されており、「住みたい街」のアップに寄与していると考え、内部評価を支持します。			

令和6年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和5年度分)				事業コード	3	—	1	—	a
担当部	まちづくり部	担当課	道路整備課		担当係	幹線道路係			
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)				
道路整備への満足度（市政アンケート：幹線・生活道路の整備に満足・やや満足と回答した人の割合）				34.3%（R1/2019）	35.1%（ R11/2029 ）				
計画体系上の位置付け	基本方針	3 “えびならしき”を守り、育み、将来に引き継ぎます							
	施策の方針	3-1 都市環境を整備します							
	関連する目標指標	これからも海老名市に住みたいか（市政アンケート：ずっと住みたい、できれば住み続けたいと回答した人の割合）							
令和5年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込		予算額			
道路環境の整備によって、渋滞の解消と、近隣住民の住環境の向上を図る。				41.1%		1,560,698 千円			
				達成率：117.09%					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
特になし。									
令和5年度事務事業に係る環境影響									
有益影響				有害影響					
・ 渋滞解消による排気ガスの抑制 ・ 路面舗装による粉塵、砂埃の抑制				・ 道路工事による廃棄物の増加					
想定されるコミュニケーション				コミュニケーションへの対応					
・ 道路工事に関する苦情				・ 迅速な工事の実施 ・ 工事内容の丁寧な説明					
令和5年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和3年度	幹線・準幹線道路及び生活道路の整備を行い、自動車の走行速度向上させ、自動車からの排出ガスの減少並びに近隣住民の住環境の向上を図った。 又、工事で使用する建設機械について、機械施工が大気環境に与える負担の低減を図るため、工事受注者に低騒音、低振動及び排出ガス対策型建設機械を可能な限り使用させた。 ・ 工事件数 5件 ・ 工事完成延長 600m							41.5%	
								達成率：120.3%	
令和4年度	幹線・準幹線道路及び生活道路整備を行い、また、市道62号線延伸道路、並木橋歩車道分離整備により、交通の利便性を向上させ、自動車等の排出ガスの減少並びに近隣住民の住環境の向上を図った。 工事で使用する建設機械については、機械施工が大気環境に与える負担の軽減を図るため、工事受注者に低騒音、低振動及び排出ガス対策型建設機械を可能な限り使用させた。 ・ 工事件数 15件 ・ 工事完成延長 1256m							市政アンケート 実施無し	
								達成率：市政アンケート実施無し	
令和5年度	幹線・準幹線道路及び生活道路の整備を行い、また、市道1753号線道路改良、並木橋歩道橋取付道路（市道3号線）改良により、駅周辺の交通の利便性を向上させ、渋滞の解消による自動車等の排出ガスの減少並びに近隣住民の住環境の向上を図った。 また、工事施工について、機械施工が大気環境に与える負担の低減を図るため、工事受注者に低騒音、低振動及び排出ガス対策型建設機械を可能な限り使用させた。 ・ 工事件数 21件 ・ 工事完成延長 1542m							41.1%	
								達成率：117.1%	
令和5年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	なし								
課題等	なし								
令和5年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価			判断理由及び内容					
担当部課 環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			当初予定していた道路整備工事が概ね予定どおりに工事を進められたことや、工事受注業者に環境配慮型建設機械を使用させたことから、概ね計画どおりの環境配慮を実施できたと判断します。 今後も幹線道路・準幹線道路及び生活道路の整備により道路ネットワークを充実させ、近隣住民の住環境の向上に取り組みます。					
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			担当部課評価の内容を支持します。 道路整備工事が概ね予定どおりに進捗していること、工事受注業者に環境配慮型建設機械を使用させたことは高く評価できます。令和5年度の市政アンケート結果による目標値達成実績は41.1%であり、令和3年度比で0.4%減少しているものの、目標値35.1%に対する達成率は117.1%となり、依然として高い達成率となっています。目標年度に向けて、達成率の更なる向上を期待します。					

令和6年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和5年度分)				事業コード	3 — 1 — b
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	廃棄物政策係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
美化推進員のポイ捨て、路上喫煙巡回日数			292日 (H30/2018)	292日 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます			
	施策の方針	3-1 都市環境を整備します			
	関連する目標指標	これから海老名市に住みたいか(市政アンケート：ずっと住みたい、できれば住み続けたいと回答した人の割合)			
令和5年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込	予算額	
美化推進員による公共的な場所(歩道など)の清掃活動および巡回、注意啓発			294日	2,477 千円	
			達成率：100 %		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
喫煙所外で喫煙や加熱式たばこ限定の喫煙所での紙巻きたばこの喫煙に関する通報が寄せられており、細かく指導を実施する必要がある。					
令和5年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・生活環境の保全 ・景観の向上			—		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・ポイ捨て等に関する苦情			・巡回時の周知啓発の徹底		
令和5年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
令和3年度	予定通りの日程で巡回を行った。 通報を受けての張り込みなど指導方法を工夫したため、指導件数が増加した。 令和3年度合計：155件 令和2年度合計：38件			292日	
				達成率：100%	
令和4年度	予定通りの日程で巡回を行った。 市民からの通報を受けての張り込みなどの指導方法を継続し、指導件数を維持した。 令和4年度合計：156件 令和3年度合計：155件			293日	
				達成率：100%	
令和5年度	予定通りの日程で巡回を行った。 市民からの通報を受けての張り込みなどの指導方法を継続した。 令和5年度合計：105件 令和4年度合計：156件			293日	
				達成率：100%	
令和5年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	海老名駅西口喫煙所の廃止				
課題等	喫煙所外で喫煙や加熱式たばこ限定の喫煙所での紙巻きたばこの喫煙に関する通報が寄せられており、細かく指導を実施する必要がある。				
令和5年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	指導件数について、減少しているが、海老名駅西口喫煙所におけるマナー違反者への指導件数が減少したものと考えられる。また、計画通り巡回を行い、美化清掃も行っているため、計画通りの環境配慮を実施できたものとする。			
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課評価の内容を支持します。 巡回及び美化活動を計画通り実施できたことは高く評価できます。また、指導件数の減少は、積年の巡回・指導の効果によることも考えられます。市民及び来街者の意識改善により、将来的には巡回の必要性が低下することを期待します。			

令和6年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和5年度分)				事業コード	3 — 1 — c
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	廃棄物政策係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
えびなクリーン作戦参加者累計数			4,800人 (R1/2019)	5,000人 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます			
	施策の方針	3-1 都市環境を整備します			
	関連する目標指標	これからも海老名市に住みたいか(市政アンケート：ずっと住みたい、できれば住み続けたいと回答した人の割合)			
令和5年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込	予算額	
年に一度、一斉美化活動を主催する			5190	— 千円	
			進捗率： 100 %		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
次回開催学区、開催時期及び開催方法の検討					
令和5年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・生活環境の保全 ・まちの美化意識の向上			—		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・実施方法に関する相談・要望			・綿密な事前調整		
令和5年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
令和3年度	新型コロナウイルス感染症再拡大に伴い事業中止			中止	
				達成率：0%	
令和4年度	有馬小学校区で開催（195人参加）			4,995人	
				達成率：99.9%	
令和5年度	実施なし			実施なし	
				達成率：0%	
令和5年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	—				
課題等	次回開催学区及び、開催方法				
令和5年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	2：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	市が主催した一斉美化活動は、開催していない。しかし、海老名市きれいなまちづくり事業や美化デー等の地域美化活動が定着してきているため、一部計画通りの環境配慮を実施できなかったものとする。			
内部環境評価	2：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	担当部課評価の内容を支持します。目標値に対する達成率が高いこと、また積年の活動の結果の定着がみられることは評価できます。一方で、令和5年度の未実施の理由は不明ではあるが、活動の内容についてよく精査したうえで今後の活動を進められたい。			

【令和6年度評価】目標指標関連事業取組み状況シート（令和5年度分）	
目標指標 （目標値（年度））	令和5年度実績
これからも海老名市に住みたいか（市政アンケート：ずっと住みたい、できれば済みたいと回答した人の割合） （90.0%（令和11年度））	アンケート実施なし
○上記目標指標に連なる個別指標に関する取組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取組みについて以下に記入してください。 ○記載する内容は事業の概要、実績（なるべく定量的に）、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。 ○記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価（海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価）における参考資料とします。 ○新型コロナウイルス感染症拡大により一時は喫煙者自体が減っていたものの、最近では慣れもあり、喫煙者自体が増加し、市の喫煙所からはみ出しての喫煙者が増加したことから、指導を強化。特定の時間帯における張り込みなどの対応により以前よりも指導効果を高めるよう努めた。 ○路上喫煙に関する苦情や情報提供が寄せられる機会が多く、得られた情報から、喫煙所だけでなく、巡回ルートの中で張り込みも行った。	

【令和6年度評価】外部評価シート（令和5年度分）

基本方針		施策の方針	
3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます		2 農業地を守ります	
目標指標		令和5年度実績	
(現状値(年度))	(目標値(年度))		
農地面積		475ha	
526ha (平成30年度)	526ha (令和11年度)		
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
農作業受委託面積	3	3	営農組合作業従事者の高齢化等により、目標数値を上回することは厳しい状況である。
市民農園利用者数	3	3	事業の性質上、紙媒体の通知・掲示物の量は横ばいであったが、利用説明会を集合開催し細やかな利用説明を行い、個別の質問等にも対応し、マナー意識の向上を図った
農業体験イベント参加者数	3	3	コロナ禍が開けてのイベント開催であったが、特に大きな混乱等もなく、たくさんの市民に体験していただけた。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。		
判断理由及び評価内容			
活動状況からいろいろ工夫していることが伺えます。3と評価します。 さらに以下を考慮して今後も取り組んでください。 3-2-b、利用の多い高齢者に伝わりやすい情報提供を今後も工夫してください。 利用が増えているのは良いことで、限りある区画を分割するなどの工夫は大変良いと思います。地権者からの提供増がないなら、いろいろ工夫してください。 3-2-c、農業体験イベントは、参加者の意見、生産者団体と検討など関係者とのコミュニケーションは大切です。今後の成果のため工夫してください。			

令和6年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和5年度分)				事業コード	3	—	2	—	a
担当部	経済環境部	担当課	農政課	担当係	農業振興係				
個別指標の内容				現状値(年度)		目標値(目標年度)			
農作業受委託面積				32ha (H30/2018)		32ha (R11/2029)			
計画体系上の位置付け	基本方針	3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます							
	施策の方針	3-2 農業地を守ります							
	関連する目標指標	農地面積							
令和5年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
市内営農組合による水稲作における稲刈りや粃摺り等の受託作業				32ha			8,912 千円		
				達成率：100%					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
南部ライスセンター内の農業用機械の破損等が見受けられ、毎年一定の費用を要している。									
令和5年度事務事業に係る環境影響									
有益影響				有害影響					
・ 農地の荒廃の抑制				・ 作業に伴う廃棄物の排出 ・ 車両の使用による排気ガスの排出					
想定されるコミュニケーション				コミュニケーションへの対応					
・ 農作業受委託に関する相談				・ 円滑な農作業受委託に向けた指導					
令和5年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和3年度	農地が荒廃することを抑制するための手法の一つとして市内営農組合が農作業を受託され、事業を実施している。中部営農組合、南部営農組合及び南部農業拠点施設による稲刈り、乾燥粃摺り等の水稲作農作業の受託。							35ha	達成率： 109 %
令和4年度	農地が荒廃することを抑制するために中部営農組合、南部営農組合が稲刈り、乾燥粃摺り等の水稲作農作業を受託した。							35.87ha	
令和5年度	農地が荒廃することを抑制するために中部営農組合、南部営農組合が稲刈り、乾燥粃摺り等の水稲作農作業を受託した。							29.93ha	達成率： 93 %
								達成率： 93 %	
令和5年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	なし								
課題等	南部農業拠点施設に設置されている農業用機械は、施設開設から10年以上が経過し老朽化が進んでいることから、計画的な機械の更新が必要と考えている。また、今後、営農組合農作業従事者の高齢化により、担い手不足が懸念される。								
令和5年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価			判断理由及び内容					
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			営農組合作業従事者の高齢化等により、目標数値を上回ることは厳しい状況である。					
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			担当部環境評価の内容を支持します。 目標値設定の見直しも含め、農業用機械の老朽化、営農組合農作業従事者の高齢化などの懸念事項に対して計画的な取り組みに努めていただきたい。					

令和6年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和5年度分)				事業コード	3 — 2 — b
担当部	経済環境部	担当課	農政課	担当係	地産地消推進係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
市民農園利用者数			479人 (R1/2019)	580人 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます			
	施策の方針	3-2 農業地を守ります			
	関連する目標指標	農地面積			
令和5年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込		予算額
地権者から借りた畑又は市所有の畑を市内在住者に廉価で貸し出す。			525人		4,966 千円
			達成率：91%		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
利用者の多くが高齢者のため、ホームページによる情報提供には限界がある。					
令和5年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・ 遊休農地、耕作放棄地の減少			・ 市民農園整備にかかる廃棄物の増加		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・ 市民農園利用者のマナー違反による苦情			・ 迅速な現場対応		
令和5年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要					目標値達成実績
令和3年度	雑草繁茂・区画外利用などの苦情に対し、速やかな現場確認、関係者への通知、連絡及び掲示物による利用者への周知を行い、利用者減を予防した。また、利用者の増加を図るため、ホームページの空き状況の更新頻度を継続して行った。				514人
					達成率：88.6 %
令和4年度	雑草繁茂・区画外利用などの苦情に対し、速やかな現場確認、関係者への通知、連絡及び掲示物による利用者への周知を行った。また、利用者の増加を図るため、ホームページの空き状況の更新頻度を継続して行った。県道整備に伴う用地買収により面積が減少する農園について、区画の配置を工夫するなど区画変更を行い、区画数の減少を最小限に抑えた。				518人
					達成率：89.3%
令和5年度	雑草繁茂・区画外利用などの苦情に対し、速やかな現場確認、関係者への通知、連絡及び掲示物による利用者への周知を行った。また、利用者の増加を図るため、ホームページの空き状況の更新頻度を継続して行った。来年度の利用にあたり利用説明会を集合開催し、雑草繁茂・区画外利用の禁止等細かに説明を行った。				516人
					達成率：88.9%
令和5年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	来年度の利用にあたり利用説明会を集合開催した。				
課題等	利用説明会として2日開催したが、事前申込不要とし当日になるまで出席者数が分からないため、天候等により出席人数の偏りがあり会場が混雑してしまう。				
令和5年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	事業の性質上、紙媒体の通知・掲示物の量は横ばいであったが、利用説明会を集合開催し細やかな利用説明を行い、個別の質問等にも対応し、マナー意識の向上を図った			
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部環境評価の内容を支持します。細やかな利用者説明を行うことによりマナー意識の向上を図ったことは評価いたします。引き続き、利用者増加を図るための周知方法を研究いただきたい。			

令和6年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和5年度分)				事業コード	3 — 2 — c
担当部	経済環境部	担当課	農政課	担当係	地産地消推進係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
農業体験イベント参加者数			2,700人 (R1/2019)	3,000人 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます			
	施策の方針	3-2 農業地を守ります			
	関連する目標指標	農地面積			
令和5年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込		予算額
トマトのもぎ取り及びサツマイモ等の掘り取りを実施します。			2000人		469 千円
			達成率：67%		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
ラッカセイの掘り取りが、生育不良によりイベントが中止されたことで、目標値を下回った。					
令和5年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・農業に対する理解の促進 ・地域の農業従事者・農作物に対する理解の促進			—		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・イベント実施に関する問い合わせ			・丁寧なイベント内容の周知		
令和5年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要					目標値達成実績
令和3年度	・サツマイモの掘り取り 令和3年10月24日(日) 9:00~11:30 大谷地区 1,000人参加				1,000人
					達成率：33.3%
令和4年度	・トマトのもぎ取り 令和4年5月22日(日) 8:55~11:00 大谷地区 1,000人参加 ・ラッカセイの掘り取り 令和4年9月25日(日) 9:00~12:00 中新田地区 300人参加				1,300人
					達成率：43.3%
令和5年度	・トマトのもぎ取り 令和5年5月21日(日) 8:55~11:00 大谷地区 700人参加 ・ジャガイモの掘り取り 令和5年6月4日(日) 9:00~12:00 大谷地区 300人参加 ・サツマイモの掘り取り 令和5年10月22日(日) 9:00~12:00 大谷地区 500人参加				1,500人
					達成率：50%
令和5年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	「梨のもぎ取り」に変わって、「ジャガイモの掘り取り」を6月に実施した。 ラッカセイの掘り取りは生育不良のため中止した。				
課題等	天候や作物の生育不良によりイベントを開催することができない。				
令和5年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	コロナ禍が開けてのイベント開催であったが、特に大きな混乱等もなく、たくさんの市民に体験していただけた。			
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部環境評価の内容を支持します。 コロナ禍があけてのイベントで、中止した事業もある中、参加者数が昨年より増加していることは評価できます。引き続きイベントの運営を工夫し、今後も継続的な事業に取り組んでいただきたい。			

【令和6年度評価】目標指標関連事業取組み状況シート（令和5年度分）	
目標指標 （目標値（年度））	令和5年度実績
農地面積 （526ha（令和11年度））	475ha
○上記目標指標に連なる個別指標に関する取組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取組みについて以下に記入してください。 ○記載する内容は事業の概要、実績（なるべく定量的に）、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。 ○記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価（海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価）における参考資料とします。	
①有害鳥獣捕獲等業務委託事業 有害鳥獣による生活環境及び農業被害を防ぎ、市民生活の安定を図る為、アライグマとハクビシンを対象に捕獲及び駆除する業務を委託事業として実施している。今後も捕獲及び駆除の必要性は続くものと思われ、継続して取り組んでいきたい。 依頼件数・・・69件 駆除頭数・・・50頭 ②農機具貸し出し事業 農業従事者の農業用機械取得の負担軽減を図る目的で、市で所有している農業用機械（トラクタ、田植機、水稻コンバイン、汎用コンバイン）の貸出しを有料で行っている。今後も事業を継続していきたい。 利用農業者・・・延べ 72名 利用日数・・・延べ 87日 ③用排水路等維持管理委託事業 農業用水通水前をはじめ、市内の農業用排水路の浚渫及び草刈等の維持管理を各地区の生産組合に委託し行っている。 委託期間・・・4月1日～2月29日 委託金額・・・19生産組合計5,192,000円 ④海老名市農業振興対策事業 農畜産業の経営の安定と発展を図るため、その事業を行うものに対し、予算の範囲内で補助金を交付している。その中でも農用地営農事業及び農用地利用集積事業については、農用地内において営農を行う農業者等に対して、申請に基づき補助金を交付しています。 令和3年度実績 交付決定件数・・・345件 補助金額・・・15,153,300円	

【令和6年度評価】外部評価シート（令和5年度分）

基本方針		施策の方針	
3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます		3 地域資源を守ります	
目標指標		令和5年度実績	
(現状値(年度))	(目標値(年度))		
自然景観への満足度（環境アンケート：相模川や農地などの自然景観が良い、やや良いと回答した人の割合） 74.9%（平成30年度） 75.0%（令和11年度）			
アンケートの実施なし			
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
郷土資料館・歴史資料収蔵館来館者数	3	4	温故館、歴史資料収蔵館の来館者数はコロナ禍が明けたことも伴って、多くの方に来館していただけたため。今後も多くの方に来ていただけるように取り組んでいきたい。
歴史関連イベント・講座参加者数	3	3	コロナ禍が明けたことにより令和4年度よりもイベントへの参加者を増加することができたため。今後も多くの方にイベントに参加していただけるように取り組んでいきたい。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。		
判断理由及び評価内容			
・ 温故館、歴史資料収蔵館の来館者数の目標達成はとても良いことと思います。 ・ 温故館の展示会、歴史、文化財のホームページである「えびな文化財探究舎」は充実してきていると思いますが、更なる充実を望みます。例えば、「震災の記憶」「海老名に伝わる銅鐸」等の展示会の解説書をホームページで公開してはいかがでしょうか。展示会終了後も成果物が生かせると思います。			

令和6年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和5年度分)				事業コード	3	—	3	—	a
担当部	教育部	担当課	教育総務課	担当係	文化財係				
個別指標の内容				現状値(年度)		目標値(目標年度)			
郷土資料館・歴史資料収蔵館来館者数				11,176人 (H30/2018)		11,500人 (R11/2029)			
計画体系上の位置付け	基本方針	3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます							
	施策の方針	3-3 地域資源を守ります							
	関連する目標指標	自然景観への満足度(環境アンケート:相模川や農地などの自然景観が良い、やや良いと回答した人の割合)							
令和5年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
温故館では企画展等を開催する。 歴史資料収蔵館では歴史資料を整理し閲覧可能資料を増やし、公開する。				9,900名			19,286 千円		
				達成率: 86.0 %					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
令和5年度事務事業に係る環境影響									
有益影響				有害影響					
・市の歴史に関する理解の促進				—					
想定されるコミュニケーション				コミュニケーションへの対応					
・施設運営に関する問い合わせ・苦情				・適切な施設運営の実施					
令和5年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和3年度	約1年を通して相模国分寺跡指定100周年記念記念展示を実施。また、館内でVR視聴ができるよう機材を設置(まん延防止措置等発令中は不可)。 歴史資料収蔵館では歴史資料を整理し閲覧可能資料の公開に向けた業務を実施。							8,142人	
								達成率: 70%	
令和4年度	温故館では、収蔵品展「中世びとの祈りの形」や市登録有形文化財として初となる高札の特別公開などを開催した。 歴史資料収蔵館では歴史資料を整理、公開に努め、歴史資料収蔵館収蔵品目録第2集を刊行した。							9,376人	
								達成率: 82%	
令和5年度	温故館では企画展「えびな近代鉄道物語」をはじめ、資料展「震災の記憶 ～関東大震災から100年～」、企画展「海老名に伝わる銅鐘 ～国分寺銅鐘重要文化財指定100周年記念～」を開催した。 歴史資料収蔵館では歴史資料の整理を行い、ミニ収蔵品展「大正から昭和初期の双六」を開催した。							14,434人	
								達成率: 145%	
令和5年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	なし								
課題等	なし								
令和5年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価			判断理由及び内容					
担当部課環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			温故館、歴史資料収蔵館の来館者数はコロナ禍が明けたことも伴って、多くの方に来館していただけたため。 今後多くの方に来ていただけるよう取り組んでいきたい。					
内部環境評価	4:計画を上回る環境配慮を実施できた。			担当部課環境評価の内容を支持します。 コロナ禍が明けたことも要因の1つだと思いますが、目標値前年度比約1.5倍を達成できたのは、様々な展示を企画し興味を持っていただく工夫をしているためと推察されます。継続的な取り組みについて評価します。					

令和6年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和5年度分)				事業コード	3	—	3	—	b
担当部	教育部	担当課	教育総務課	担当係	文化財係				
個別指標の内容				現状値(年度)		目標値(目標年度)			
歴史関連イベント・講座参加者数				319人 (H30/2018)		456人 (R11/2029)			
計画体系上の位置付け	基本方針	3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます							
	施策の方針	3-3 地域資源を守ります							
	関連する目標指標	自然景観への満足度(環境アンケート:相模川や農地などの自然景観が良い、やや良いと回答した人の割合)							
令和5年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への達成見込			予算額		
文化財講演会及び文化財ガイドを開催する。 夏休み体験講座を実施する。				300名			300 千円		
				達成率: 65.7 %					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
令和5年度事務事業に係る環境影響									
有益影響				有害影響					
・市の歴史に関する理解の促進				—					
想定されるコミュニケーション				コミュニケーションへの対応					
・イベント実施に関する問い合わせ				・丁寧なイベント内容の周知					
令和5年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和3年度	相模国分寺跡指定100周年記念事業として、講演会及び文化財ガイドを実施。また、奈良時代の相模国分寺を復元したVR体験会を実施した。 まが玉作り、矢じり作り等の体験講座は中止とした。							306人	
								達成率: 67%	
令和4年度	文化財講演会及び文化財ガイド、夏休み体験講座を人数を縮小してではあるが開催することができた。 また、昨年度に引き続き奈良時代の国分寺を復元したVR体験会を実施した。							276人	
								達成率: 61%	
令和5年度	昨年度よりも文化財講演会及び文化財ガイド、夏休み体験講座の人数等を拡大し、開催することができた。 また、海老名市文化会館にて海老名の郷土芸能祭を開催した。							286人 (講演会+ガイド+体験講座)	
								達成率: 62.7%	
令和5年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	なし								
課題等	なし								
令和5年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価			判断理由及び内容					
担当部課環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			コロナ禍が明けたことにより令和4年度よりもイベントへの参加者を増加することができたため。 今後も多くの方にイベントに参加していただけるように取り組んでいきたい。					
内部環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。			担当部課環境評価の内容を支持します。 コロナ禍が明けた影響もあると思いますが、事業を拡大し、海老名の歴史や文化をより多くの方に認識してもらえた点を評価します。今後の更なる取り組みに期待します。					

【令和6年度評価】目標指標関連事業取組み状況シート（令和5年度分）	
目標指標 （目標値（年度））	令和5年度実績
自然景観への満足度（環境アンケート：相模川や農地などの 自然景観が良い、やや良いと回答した人の割合） （75.0%（令和11年度））	アンケート実施なし
○上記目標指標に連なる個別指標に関する取組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取組みについて以下に記入してください。 ○記載する内容は事業の概要、実績（なるべく定量的に）、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。 ○記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価（海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価）における参考資料とします。	
○景観条例や住みよいまちづくり条例に基づいて、民間等による開発・建築行為における良質な景観の維持・保全を図りました。	

【令和6年度評価】外部評価シート（令和5年度分）

基本方針		施策の方針	
4 みんなでえびなの環境を考え、行動します		1 環境を考え、行動します	
目標指標		令和5年度実績	
（現状値（年度））	（目標値（年度））		
環境への関心度（環境アンケート：以前と比べて関心度合いが高くなったと回答した人の割合）		アンケート実施なし	
43.5% （平成30年度）	48.0% （令和11年度）		
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
環境関連情報発信回数	3	3	環境に関する発信回数は昨年度と同数だが、市民の環境問題に対する理解の促進に繋がり、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断します。
啓発・出前講座参加者数	3	2	昨年度までは新型コロナウイルス感染症の影響により、申し込みがなく、開催できていなかったが、令和5年度は2校で実施することができたため、数値としては達成できていないが、おおむね計画通り実施できたものとする。
海老名市きれいなまちづくり事業への登録団体数	3	2	登録団体の減少がみられるものの、新型コロナウイルス感染拡大による活動中止が減少し、各団体の活動が活発になったと考えられるため、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断する。
海老名市地域緑化事業への登録団体数	3	3	前年度同様、多くの団体が活動を行い、市民に対する緑化への関心を広げることができたため。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。		
判断理由及び評価内容			
コロナ禍で、出向いた教育などが一部未達成なものがありますが、おおむね計画通りだと判断し、内部評価通りとします。 ただし、各課とも、各年度の目標値が明確にたてられておらず、令和11年度の目標に対する活動になっています。そのため、単年度の達成度合いがわかりにくく、未達成の場合の是正がとりにくい状態です。今後、各年度ごとの目標値を決め、年度ごとの達成を見ていくマネジメントシステムを期待します。			

令和6年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和5年度分)				事業コード	4 — 1 — a
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	環境共生係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
環境関連情報発信回数			5回 (H30/2018)	8回 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	4 みんなでえびなの環境を考え、行動します			
	施策の方針	4-1 環境を考え、行動します			
	関連する目標指標	環境への関心度 (環境アンケート：以前と比べて関心度合いが高くなったと回答した人の割合)			
令和5年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込	予算額	
・光化学スモッグ及びアイドリングストップ等の環境関連情報を広報えびな等にて発信 ・環境啓発イベントを通じた環境情報の発信			6回	— 千円	
			達成率：75%		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
コロナが終息し、環境啓発イベントを開催できる状況となったため、今後は情報発信回数を増加できるよう努める。					
令和5年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・環境問題に対する理解の促進			—		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・環境情報に関する問い合わせ			・丁寧な環境情報周知の徹底		
令和5年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
令和3年度	・広報えびなで新たに省エネルギー月間についての記事を掲載しました。 ・「生きもの大調査」や「えびなSDG s 環境マイレージ」に関する情報発信を行いました。			6回	
				達成率：75%	
令和4年度	・広報えびなで新たに省エネルギー月間についての記事を掲載しました。 ・「生きもの大調査」や「えびなSDG s 環境マイレージ」に関する情報発信を行いました。			7回	
				達成率：87.5%	
令和5年度	・広報えびなで新たに省エネルギー月間についての記事を掲載しました。 ・「生きもの大調査」や「えびなSDG s 環境マイレージ」に関する情報発信を行いました。 ・開発行為等で一定規模以上の駐車場を有する事業主に対し、駐車場敷地内で見やすい場所にアイドリングストップの表示看板の設置を要望し、光化学スモッグ発生の抑制に努めました。			7回	
				達成率：87.5%	
令和5年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	なし				
課題等	目標値達成のための、情報発信回数増加の検討。				
令和5年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	環境に関する発信回数は昨年度と同数だが、市民の環境問題に対する理解の促進に繋がり、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断します。			
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。 令和4年度に引き続き、令和5年度も情報発信回数を維持できたことは評価できます。今後も、市民の環境問題に対する理解のさらなる促進を図るため事業を継続されることを期待します。			

令和6年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和5年度分)				事業コード	4 — 1 — b
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	廃棄物政策係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
啓発・出前講座参加者数			645人 (H30/2018)	710人 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	4 みんなでえびなの環境を考え、行動します			
	施策の方針	4-1 環境を考え、行動します			
	関連する目標指標	環境への関心度(環境アンケート：以前と比べて関心度合いが高くなったと回答した人の割合)			
令和5年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込	予算額	
小学校や事業所、集合住宅へ赴き、ごみの分別方法等の出前講座を行う			922人	— 千円	
			達成率： 100 %		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
作成した動画等の学校等での活用方法の検討					
令和5年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・ 環境問題に対する理解の促進			—		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・ 講座等実施に関する問い合わせ			・ 丁寧な講座等内容の周知		
令和5年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
令和3年度	開催なし			0	
				達成率：0.0%	
令和4年度	開催なし			0	
				達成率：0.0%	
令和5年度	柏ヶ谷小学校、有鹿小学校で小学4年生に向けた出前講座を開催(160人参加)			160人	
				達成率：17.3%	
令和5年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	—				
課題等	作成した動画等の学校等での活用方法の検討				
令和5年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	昨年度までは新型コロナウイルス感染症の影響により、申し込みがなく、開催できていなかったが、令和5年度は2校で実施することができたため、数値としては達成できていないが、おおむね計画通り実施できたものとする。			
内部環境評価	2：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	2校で出前講座の開催ができたことは評価します。作成されている動画も活用しつつ、さらなる周知が図れるよう出前講座開催の継続を期待します。			

令和6年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和5年度分)				事業コード	4 — 1 — c
担当部	経済環境部	担当課	環境政策課	担当係	廃棄物政策係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
海老名市きれいなまちづくり事業への登録団体数			56団体 (H29/2017)	56団体 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	4 みんなでえびなの環境を考え、行動します			
	施策の方針	4-1 環境を考え、行動します			
	関連する目標指標	環境への関心度(環境アンケート: 以前と比べて関心度合いが高くなったと回答した人の割合)			
令和5年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への達成見込	予算額	
不特定多数が使用する公共用地等の美化活動に奨励金を交付する			46	1,248 千円	
			達成率: 82.1 %		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
団体登録を継続しない団体が増えている点					
令和5年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・生活環境の保全 ・まちの美化意識の向上			—		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・実施方法に関する相談・要望			・綿密な事前調整		
令和5年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値達成実績	
令和3年度	48団体がきれいなまちづくり事業の団体登録を行った。			48団体	
				達成率: 85.7%	
令和4年度	46団体がきれいなまちづくり事業の団体登録を行った。			46団体	
				達成率: 82.1%	
令和5年度	42団体がきれいなまちづくり事業の団体登録を行った。			42団体	
				達成率: 75%	
令和5年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	なし				
課題等	団体登録を継続しない団体が増えている点				
令和5年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3: 概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	登録団体の減少がみられるものの、新型コロナウイルス感染拡大による活動中止が減少し、各団体の活動が活発になったと考えられるため、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断する。			
内部環境評価	2: 一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	登録団体の減少がみられますが、登録団体の要望に沿った取組みを実施し、課題解決に繋げてきたい。			

令和6年度評価 環境管理計画・環境評価調査(令和5年度分)				事業コード	4	—	1	—	d
担当部	まちづくり部	担当課	住宅公園課（住宅まちづくり課）			担当係	まちづくり支援係		
個別指標の内容					現状値(年度)		目標値(目標年度)		
海老名市地域緑化事業への登録団体数					19団体（R1/2019）		19団体（R11/2029）		
計画体系上の位置付け	基本方針	4 みんなでえびなの環境を考え、行動します							
	施策の方針	4-1 環境を考え、行動します							
	関連する目標指標	環境への関心度（環境アンケート：以前と比べて関心度合いが高くなったと回答した人の割合）							
令和5年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要					目標値への達成見込			予算額	
市内における地域緑化の推進のため、地域の緑化事業を行う団体が実施する緑地等整備事業及び緑地等管理事業に要する経費に対して補助金の交付を実施					18団体			587 千円	
					進捗率：94.7%				
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
特になし									
令和5年度事務事業に係る環境影響									
有益影響					有害影響				
・緑を保全・育成する意識の向上					—				
想定されるコミュニケーション					コミュニケーションへの対応				
・緑化手法に関する問い合わせ					・適切な緑化手法の周知				
令和5年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値達成実績	
令和3年度	補助金交付実績 17件 502,000円							17/19団体	
								達成率：89.5%	
令和4年度	補助金交付実績 18件 508,000円							18/19団体	
								達成率：94.7%	
令和5年度	補助金交付実績 18件 508,000円							18/19団体	
								達成率：94.7%	
令和5年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	なし								
課題等	団体数を増やすために、地域緑化事業補助金制度のさらなる周知が必要								
令和5年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価				判断理由及び内容				
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。				前年度同様、多くの団体が活動を行い、市民に対する緑化への関心を広げることができたため。				
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。				担当部課評価の内容を支持します。地域緑化事業補助制度の登録団体が高水準であるは高く評価できます。引き続き効果的な周知を実施し、目標年度前の目標値達成を期待します。				

【令和6年度評価】目標指標関連事業取組み状況シート（令和5年度分）	
目標指標 （目標値（年度））	令和5年度実績
環境への関心度（環境アンケート：以前と比べて関心度が高くなったと回答した人の割合） （48.0%（令和11年度））	アンケート実施なし
○上記目標指標に連なる個別指標に関する取組み以外に、目標指標の進捗に寄与したと考える取組みについて以下に記入してください。 ○記載する内容は事業の概要、実績（なるべく定量的に）、今後の課題等を可能な範囲で具体的に記入してください。 ○記載いただいた内容は、目標指標の進捗に関する評価（海老名環境マネジメントシステム専門部会による外部評価）における参考資料とします。 ○令和4年度までは新型コロナウイルス感染症の影響等により、出前講座を開催していなかったが、令和5年度は市内小学校から2件依頼があり開催。 ○YouTubeでも継続して啓発を行っている。	

【参考】

公共施設における再生可能エネルギー導入状況

施設名称	エネルギー区分	所管部署	所在地	摘要	年度	設置施設数	設置台数(基)	発電容量合計(kW)	設備概要	利用方法等
海老名市立えびな市民活動センター	太陽光発電	市民活動推進課	海老名市さつき町51-2	設置	2013	1	1	10.00	48枚 公称最大出力 208.4W (パネル1枚あたり) 合計約10kW	自家消費
海老名市立えびな市民活動センター	コージェネレーション	市民活動推進課	海老名市さつき町51-2	設置	2013	1	4	140.00	定格出力 35.0kW (1台あたり) 合計約 140.0kW コージェネレーションパッケージ	温水・電気供給
海老名市立えびな市民活動センター	地中熱利用	市民活動推進課	海老名市さつき町51-2	設置	2013	1	1	不明	地中熱利用熱源システム	自家消費
市営上河内住宅	太陽光発電	住宅まちづくり課	海老名市上河内240-2	設置	2015	1	1	5.50	240w太陽光パネル 1基	住宅共用部分への供給 (余剰分は売電)
東柏ヶ谷近隣公園	太陽光発電	都市施設公園課	海老名市東柏ヶ谷1-1766-3	設置	2010	1	2	0.09	ソーラー照明灯	公園灯
東柏ヶ谷近隣公園	太陽光発電	都市施設公園課	海老名市東柏ヶ谷1-1766-3	設置	2012	1	10	0.09	ソーラー照明灯	公園灯・案内板
国分寺台第二児童公園	太陽光発電	都市施設公園課	海老名市国分寺台2-5417-48	設置	2012	1	5	0.09	ソーラー照明灯	公園灯
海老名駅自由通路	太陽光発電	都市施設公園課	海老名市めぐみ町507-1	設置	2015	1	1	10.00	太陽光パネル 36枚	照明に利用 (2:00~9:00)
海老名駅自由通路	太陽光発電	都市施設公園課	海老名市めぐみ町507-1	増設	2018	0	0	10.00	太陽光パネル 36枚 リチウムイオン蓄電システム 1基	エレベーターに利用 (24時間)
海老名市立中央図書館	太陽光発電	学び支援課	海老名市めぐみ町7-1	設置	2015	1	1	5.00	太陽光発電パネル 1基	自家消費 (照明等)
消防署北分署	太陽光発電	海老名市消防本部	海老名市上今泉6-13-17	設置	2009	1	1	10.64	・太陽電池モジュール56枚・太陽電池容量 10.64kW・インバーター容量10kW 発電能力年間9600kWh	自家消費 (庁舎電灯)
海老名市障害者第一デイサービスセンター	太陽光発電	障がい福祉課	海老名市社家681-1	設置	2013	1	1	10.00	太陽光発電設備	自家消費
海老名市障害者第二デイサービスセンター	太陽光発電	障がい福祉課	海老名市望地2-24-1	設置	2013	1	1	10.00	太陽光発電設備	自家消費
海老名市立門沢橋コミュニティセン	太陽光発電	地域づくり課	海老名市門沢橋1-20-41	設置	2021	1	1	27.22	太陽光発電設備	施設の照明・空調用等電源
海老名市立東柏ヶ谷小学校	太陽光発電	教育総務課	海老名市東柏ヶ谷6-9-7	設置	2007	1	1	5.00	太陽光発電設備	学校施設の電力
北部公園体育館	太陽光発電	文化スポーツ課	海老名市上今泉6-14-1	設置	2001	1	1	11.65	太陽光発電施設 モジュール75枚 蓄電器 144セル	自家消費
海老名市障害者支援センターあきば	太陽光発電	障がい福祉課	海老名市上今泉6-11-20	設置	2017	1	1	10.00	太陽光発電施設	自家消費